

第一看護学科 授業紹介

芸術と表現 — 音楽 —

学生の感想

音楽は想いを知るコミュニケーション方法の一つであり、その方法は患者さん一人ひとりによって変わってくるため、音の少ない病棟の中で、その人に合った想いの表出方法を探してみたいと感じました。

好きなリズムで机を叩いて表したり、自分の気持ちを歌詞にしてみたりと、“積極的に参加する、授業で、とても楽しかった。音楽の楽しさと同時に、音楽は人に大きな影響を与えるものだと思った。

普段の授業とは少し違った楽しさのある授業でした。音楽によって患者さんの不安や苦しさを緩和できること、それに最も有効とされるパーソナルソングの存在について学ぶことができました。



講師の実演により
理解が深まりました



令和4年度から新設された、1年次後期の基礎科目です。さまざまな芸術をとおして看護とのつながりを、見て、聴いて、感じて学びます。

音楽の单元では、看護に歌を使った例とその効果について講義を聞きました。講師の先生はギターで色々な曲を紹介してくださり、理解が促されました。